

「めぐみさん生きている」

オランダ人
女性監督



フェイレンさん

記録映画の撮影開始

の両親ら家族と、その支援団体の取材と撮影を本格的にスタートさせた。

監督はミリアム・ファン・フェイレンさん

(四六)。四年前、北朝鮮の金正日総書記が当時十三歳のめぐみさんら日本人約一カ月間、日本に滞在するなど準備を進めてきた。

一九七七年十一月に新潟市で起きた横田めぐみさん拉致事件のドキュメンタリー形式の映画化を目指してオランダの女性監督が来日、めぐみさん

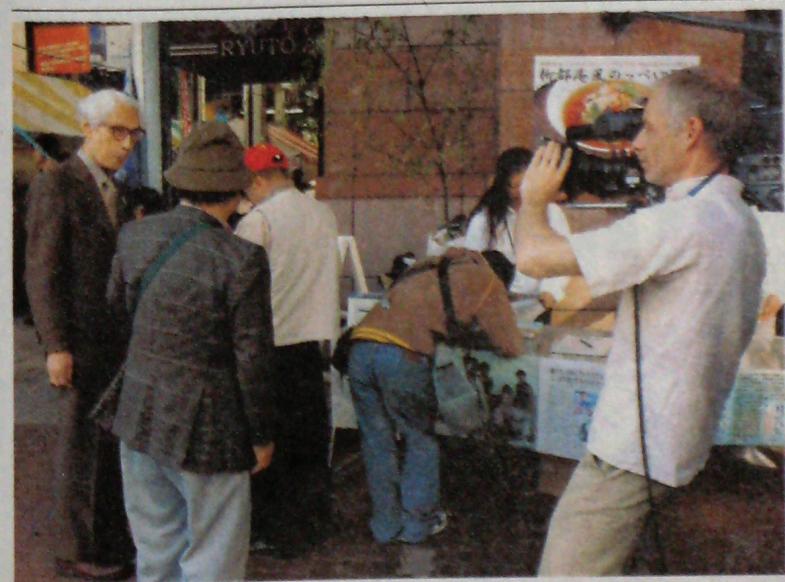
の両親ら家族と、その支援団体の取材と撮影を本格的にスタートさせた。

監督はミリアム・ファン・フェイレンさん

(四六)。四年前、北朝鮮の金正日総書記が当時十三歳のめぐみさんら日本人約一カ月間、日本に滞在するなど準備を進めてきた。

今日は撮影スタッフを取材に応じたフェイレンさんは「家族の取材を通じて、私もめぐみさんが必ず生きているという確信を持つようになった」

母早紀江さん(七〇)と、弟で双子の拓也さん(三八)、哲也さん(三八)の救出活動の様子を撮影。新潟市では救う会新潟が三日に行なった救出署名活動を取材するなど精力的に動き回っている。



救う会新潟の救出署名活動を取材する撮影スタッフ=3日、新潟市の古町十字路

と強調。「めぐみさんと家族のきずなや支援者の再会を信じて疑わない気持ちが見た人に伝わる